

# D-Case Editor インストール手順書

7/NOV/2013

## 改訂履歴

更新日	版	内容
7/NOV/2013	0.9.0	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現バージョンに合わせて環境を変更</li><li>• テンプレートプロジェクトをパターンプロジェクトに変更</li><li>• 各手順を、上記変更に合わせて変更</li></ul>
28/MAR/2013	0.8.9	<ul style="list-style-type: none"><li>• 環境を変更(2)</li><li>• 新たなバージョンアップの手順を追記(3.3)</li></ul>
18/JAN/2013	0.8	新規作成

# 目次

1 はじめに.....	4
1.1 概要.....	4
1.2 関連文書.....	4
2 環境.....	5
3 構築手順.....	6
3.1 Eclipse のインストール.....	6
3.2 Eclipse プラグインのインストール.....	6
3.3 D-Case Editor のインストール.....	6
3.4 テンプレートプロジェクトのインポート.....	7

# 1 はじめに

## 1.1 概要

本書は、独立行政法人 科学技術推進機構(以下、JST)が行う戦略的創造研究推進事業の研究領域である「実用化を目指した組込みシステム用ディペンダブル・オペレーティングシステム」(以下、DEOS プロジェクト)において開発中の、Dependability cases(以下、D-Case)の作成を支援するツール「D-Case Editor」の環境を構築するための手順を記述する。

本書内に記述されている Eclipse などのバージョンは、開発時のものである。そのため、必ずしも同一のバージョンが入手できるとは限らない。必要に応じて読み替えていただきたい。

## 1.2 関連文書

- The Eclipse Foundation  
<http://www.eclipse.org/>
- java.com  
<http://java.com/>
- Eclipse3.4 プラグイン開発 徹底攻略 毎日コミュニケーションズ (ISBN978-4-8399-2972-5)

## 2 環境

下記の環境を想定して、環境構築の手順を説明する。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1
- Oracle Java SE Runtime Environment 7 Update 45
- Eclipse IDE for Java Developers (Kepler 32bit)
- Graphical Modeling Framework(GMF) Runtime (1.7.0)
- OCL End User SDK (4.1.0)
- D-Case Editor (下記の jar ファイル, DDHHMM にはバイナリ作成時の日時分が入る)
  - net.dependableos.dcase\_0.9.0.axe\_201311DDHHMM.jar
  - net.dependableos.dcase.diagram\_0.9.0.axe\_201311DDHHMM.jar
  - net.dependableos.dcase.diagram.common\_0.9.0.axe\_201311DDHHMM.jar
  - net.dependableos.dcase.diagram.editor.\_0.9.0.axe\_201311DDHHMM.jar
  - net.dependableos.dcase.edit\_0.9.0.axe\_201311DDHHMM.jar
- パターンプロジェクト (下記のアーカイブファイル)
  - D-CasePattern.zip
- +Lhaca などのアーカイブユーティリティ

## 3 構築手順

Windows および JRE(Java Runtime Environment)は導入済みという前提で、以降を説明する。

### 3.1 Eclipse のインストール

1. Eclipse のサイトから、「Downloads」をたどって、「Eclipse IDE for Java Developers」の Windows 32bit 用のアーカイブファイルをダウンロードする。
2. ダウンロードしたアーカイブファイルを、アーカイブユーティリティを使用して、任意の場所で展開する。
3. 「eclipse.exe」を起動する。

### 3.2 Eclipse プラグインのインストール

1. Eclipse を起動する。
2. 「Help」メニューの「Install New Software...」を選択する。
3. Work with に「Kepler - <http://download.eclipse.org/releases/kepler>」を指定する。
4. 「Modeling」を開き、中にある「Graphical Modeling Framework(GMF) Runtime」および「OCL End User SDK」にチェックを入れて、インストールを行う。

### 3.3 D-Case Editor のインストール

初めて D-Case Editor をインストールする場合は、以下の手順を行う。

1. Eclipse が起動していない状態で、「dropins」フォルダに、D-Case Editor の jar ファイルをコピーする。
2. Eclipse を起動する。
3. 「Help」メニューの「About Eclipse Platform」を選択する。
4. ダイアログの左下にある「Installation Details」ボタンを押下する。
5. 「Plug-ins」タブを選択すると、プラグイン一覧が表示される。  
その中に、D-Case で始まるプラグインがあることを確認する。

すでに D-Case Editor がインストール済みであり、バージョンアップする場合は、以下の手順を行う。

1. Eclipse が起動していない状態で、「dropins」フォルダ内にある D-Case Editor の jar ファイルを差し替える。
2. 「-clean」オプションを指定して Eclipse を起動する。(eclipse.exe -clean)
3. 「Help」メニューの「About Eclipse Platform」を選択する。
4. ダイアログの左下にある「Installation Details」ボタンを押下する。
5. 「Plug-ins」タブを選択すると、プラグイン一覧が表示される。

D-Case Editor のプラグインのバージョンが更新されていることを確認する。

下記の手順でもバージョンアップが可能である。

1. Eclipse が起動していない状態で、「dropins」フォルダをリネームし、空の「dropins」フォルダを作成する。
2. Eclipse を起動し、終了する。
3. 「dropins」フォルダを削除し、リネームした「dropins」フォルダを元に戻す。
4. D-Case Editor の jar ファイルを差し替える。
5. Eclipse を起動する。
6. 「Help」メニューの「About Eclipse Platform」を選択する。
7. ダイアログの左下にある「Installation Details」ボタンを押下する。
8. 「Plug-ins」タブを選択すると、プラグイン一覧が表示される。

D-Case Editor のプラグインのバージョンが更新されていることを確認する。

### 3.4 パターンプロジェクトのインポート

1. Eclipse を起動する。
2. 「File」メニューの「Import...」を選択する。
3. 「General」を開き、中にある「Existing Projects into Workspace」を選択し、下にある「Next」ボタンを押下する。
4. 「Select archive file」にチェックを入れ、「Browse...」ボタンを押下して、パターンプロジェクトのアーカイブファイル「D-CasePattern.zip」を選択する。
5. 「Copy projects into workspace」にチェックを入れて、右下の「Finish」ボタンを押下する。